

坂出市郷土資料館

みなさん!
わかりましたか?

【沿革】

坂出市郷土資料館は、県立坂出商業学校の本館として大正8年に建築されたもので、途中火災に遭いながらも、翌年に完成しました。坂出市内に現存する学校建築としては最も古く、昭和28年には坂出市立坂出中学校の施設として使われるようになりましたが、坂出中学校の移転に伴い、一部内装などを改装し、昭和53年11月3日に郷土資料館として開館しました。昭和54年11月3日には坂出市文化財に指定され、坂出市の考古・歴史・民俗資料の殿堂として、現在に至っています。

【建物の概要】

坂出市郷土資料館は木造2階建、延べ床面積は516.74㎡（1階・2階とも床面積258.37㎡）で、屋根は袴腰屋根で日本瓦葺、屋根中央部には塔屋が立ち上げられ、正面南側に2カ所、北側に3カ所ドーマー形換気口が取り付けられています。

基礎は花崗岩敷きとレンガ積みで形作られ、外壁はドイツ下見板張りで、妻部分軒下は漆喰塗りとなっています。窓枠は1階・2階を連続して縦の線を強調したデザインで、上下にスライドするガラス窓がはめ込まれています。

*参考文献「香川県の近代化遺産」・「坂出市史」

※ドーマー：屋根から突き出して設けられた採光用の窓



坂出市郷土資料館

- ・所在地 坂出市寿町一丁目3番5号
- ・電話番号 0877-45-8555
- ・入館料 無料
- ・開館時間 午前9時～午後4時
- ・休館日 毎週月曜日、毎月末日、祝日、年末年始

(1階のみ展示)

【当時の生徒の
思い出】

内装は改装されたため学校施設としての特徴は不明確な状態となっていますが、坂出中学校の移転前には、1階に校長室があり、2階が図書室として使われていたはずで、その頃には既に老朽化で建屋の軒下には頭上注意の看板が上がっていて瓦の落下が発生していたことを思い出します。

編集後記

広報広聴委員会には数年ぶりの復帰です。「ギカイだより」の編集を中心に、加えて議会報告会の企画などが主な仕事となります。委員会では委員長をはじめ、若手やベテランの域を超えて、自由闊達な意見交換の中、企画が進められ、どうすれば市民の皆さんに議会活動や市政がわかりやすく伝わるのか、また市民の思いをどう汲み取るのか、率直な意見が交わされます。広報・広聴の大切な役割を改めて実感しているところです。

さて、新型コロナウイルス感染症が、すでに地球規模で広がり厳しい状況となっているように思います。このような中、市民の皆さんのために、議会や市政が何をすべきか、何ができるのか、構える日々となっています。そんな状況のもと、ふと思うことは、今こそ世界の国々がこれまでの意見や立場の違いを乗り越えて、人類の英知を結集し、一日も早くワクチンを開発し収束してほしいという願いです。そしてその先には平和で人類愛に満ちた新しい世界の出現を願ってやみません。我が坂出市議会としても、今こそその思いで市民の皆さんに応える活動を決意する次第です。

(野角)

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……茨 智仁
委員……丸岡豊和 東原 章 鳥飼年幸
寒川佳枝 若杉輝久 野角満昭

次回開催は…
5月臨時会を5月中旬に、
6月定例会を6月中旬に
開催予定です。

